

# そらこめ通信 No.44 2014.03発行

日頃より弊社のコメをお買い上げいただき誠にありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。  
 2月の沼田町は雪が少なくとても穏やかな月でした。一方、関東・甲信・東北の各地方では低気圧の発達により2月中に2度の大雪に見舞われ、観測史上最高の積雪を記録したところも多かったようです。東京では2月8日未明から9日にかけて実に45年ぶりという積雪27センチを記録、千葉では史上最高の33センチ、熊谷で60年ぶりの43センチ、仙台で78年ぶりの35センチ、石巻でも91年ぶりとなる38センチの大雪が降ったとのこと。翌週の14日から15日にかけての雪はさらに激しく、甲府では今までの記録(49センチ)の約2倍という114センチの積雪を記録したとのニュースにただ驚くばかり。農業用ハウスなどにも大きな被害が出ているようで、同業を営む者として心からお見舞いを申し上げます。  
 さて、今年から日本の農業政策が大幅に見直されることになりました。ひとつには減反政策の見直しです。コメの価格の下落防止を目的に40年以上続いてきた減反政策が5年後の廃止を視野に見直されることになったもの。それに合わせて、とかくバラマキと批判が多かった戸別所得補償も見直され、給付額が今年から半分に、5年後にはこれも廃止されるというわけです。また、激変緩和策としてコメ作農家が家畜などの飼料米に転換した場合は、しばらくの間補償金が支給されるという施策も発表されました。主食米はいくら作っても構わないが、自分たちで売り先を見つけてください…ということですが、農家の戸惑う様子が目に見えるようです。特に、耕作面積が広い北海道では作ったコメの売り先をそれぞれの農家が自分たちで探すことは至難の技。今後、数年のうちに離農する農家が急増しそうです。しかし、我々はへこたれずに頑張るつもりです。ピンチをチャンスに変えて…。



ボランティアで会社の横にあるバス停の除雪作業を行いました(1月29日)



育苗ハウスの土壌検査(2月2日)



すべての育苗ハウスの土壌成分を検査するために、袋にハウスの番号を記入し土のサンプルを入れる作業(2月2日)



育苗ハウスの除雪作業～いつもの光景です(2月3日)



営農計画の策定(2月20日)



ハウスの除雪作業(2月21日)



圧縮空気ですらに精米機の清掃を行う山崎君(2月21日)



2月21日早朝、突然現れたキタキツネ



田植え機の整備を行う拓哉君(2月21日)



精米した後に余分な糠を除去する「研米機」は分解して掃除(2月21日)



ミニユンボでの除雪(2月25日)

2月21日の早朝、キタキツネがひょっこり育苗ハウスにやって来ました。養鶏農家にとっては天敵ともいべきキツネですが、最近では駆除して放置されたシカ肉などを餌にして個体数が増えつつあるという報告があります。晩秋の早朝などには街中で出会って驚かされることも多いキタキツネ。でも、こうして雪原の中で見ると本当に可愛いものです。昔のドラマではありませんが、思わず「ルルルル…」と呼んでしまいそうです(笑)

これからも安全で美味しいお米の生産に努めますので、引き続きご愛顧のほどよろしくお願いいたします。  
**(株)空知こめ工房 ホームページ**  
<http://www.sorachi-kome.jp/>  
**ブログ「生産日誌」更新中です**

インターネットで美味しいお米♪



毎年、この時期に次年度の営農計画を練っています。今年から日本の農業政策が大幅に見直されることになり、どこの農家も大幅な減収予想のもと、根本的な計画の練り直しを余儀なくされています。弊社も減収分をいかにして補うか会議の中で知恵を出し合いました。